

名古屋城 西の丸御蔵城宝館 企画展

尾張ゆかりの甲冑・刀剣



令和5年 6月 26日(月) - 9月 3日(日)

名古屋城 西の丸御蔵城宝館

午前9時～午後4時30分(最終入館 午後4時) 会期中無休
入館無料

*名古屋城観覧料500円(名古屋市内在住65歳以上100円・中学生以下無料)が必要。

主催：名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

名古屋城西の丸御蔵城宝館企画展

尾張ゆかりの甲冑・刀剣

令和5年

6月26日(月)ー9月3日(日)

会期中展示替えいたします。
展示状況はホームページをご覧ください。

甲冑・刀剣は武士にとって必須の備え武器であると同時に、武家の格式を示す道具です。甲冑は機能性や防御性を重視しつつ、戦場での識別を兼ねて個性的な造形が施された他、刀剣は製作した刀工や工芸品としての優劣に基づき贈答用としても用いられたため、泰平の世でも優れた甲冑・刀剣が製作・伝承されました。尾張徳川家が治めた濃尾の地においても、御三家筆頭の領地に相応しい甲冑・刀剣の優品が伝えられています。本展覧会では、名古屋城コレクションの中で、尾張ゆかりの甲冑・刀剣を中心に、武家の備えの美を紹介いたします。



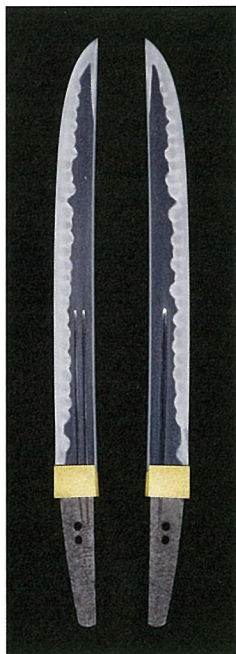
勝色糸威胴丸具足・鉄地金箔貼変り兜 赤目横井家伝来
江戸時代 17世紀



黒漆塗鉢巻形兜 江戸時代 18世紀



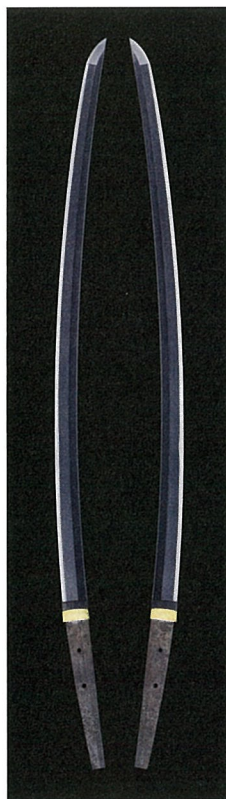
黒漆塗十二間総覆輪筋兜 石河家伝来
南北朝時代 14世紀



短刀 銘 若狭守氏房 天正三年五月日
桃山時代 天正3年(1575)



脇指 銘 来国治
江戸時代 18世紀



太刀 無銘 石河家伝来
室町時代 16世紀



紺糸威二枚胴具足・鉄錆地六十二間筋兜 丹羽家伝来
江戸時代 17世紀



名古屋城西の丸御蔵城宝館交通アクセス

地下鉄/名城線「名古屋城」下車7番出口より東門まで徒歩5分、東門より徒歩10分
市バス/栄13号系統(栄~安井町西)「名古屋城正門前」、
なごや観光ルートバス「メーグル」名古屋城下車正門まで徒歩1分、正門より徒歩2分

お問い合わせ

名古屋城総合事務所 〒460-0031 名古屋市中区本丸1番1号 TEL(052)231-1700
<https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/>

いづれも名古屋城総合事務所蔵 中村慧撮影